



東京弁護士会

同性カップルの子育て

～さまざまな家族のかたち～

子を産み、育てるのは異性カップルだけ・・・そうでしょうか。同性カップルによる子育ての実態と各種研究について、実際に子育てをしている同性カップルと専門家にお伺いした上で、それを取り巻く法的な現状と問題点について、パネルディスカッションを通じて考えます。



有田啓子氏



小野春氏

撮影 植本一子



金谷勇歩氏

立命館大学院にて、主に欧米のLesbian mothersについての研究を調査している。共著『論点ハンドブック家族社会学』、『パートナーシップ・生活と制度[結婚、事実婚、同性婚]』、『実践ジェンダー・フリー教育=フェミニズムを学校に=』。博士論文『「親」という社会システムの再構築にむけてー同性親をめぐる諸議論の検討ー』

子育てをするLGBTとその周辺をゆるやかにつなぐ団体「にじいろかぞく」代表。「結婚の自由をすべてのひとに」訴訟の原告の一人。2013年IVLP研修生。同性パートナーと共に3児を育てて15年。LGBTステップファミリーで、子どもは大学生と高校生になる。LGBTも安心して子育てできる環境づくりを目指して活動中。

昨年精子提供により子どもを授かる。介護企業で働きながら、LGBTと介護・生活困窮・グリーンワーク・家族などに関わる活動を続けている。社会福祉士養成機関での教育、LGBT学生のサポート、認定NPOグッドエイジングエールズの立上げ、OUT IN JAPAN、LGBT支援ハウス、プライドハウス東京などにもたずさわる。社会福祉士(医療福祉修士)、言語聴覚士(修士)、内部監査士。

参加費無料です。

どなたでもご参加いただけます。

お問合せ先

東京弁護士会人権課

(千代田区霞が関1-1-3)

TEL: 03-3581-2205

2021年 3/8(月)

18:00~20:00

参加のお申込みは表面QRコードより

[3月4日(木)まで]